

月刊

社協だより

平成30年
11月号



発行：狩留家地区社会福祉協議会 編集：広報部
広島市安佐北区狩留家町3144番地 TEL：844-0826

”資源ごみ” 大幅値上げ

狩留家で資源ごみの販売を始めて七年目になります。平成三十年十一月以降より、資源ごみの販売単価を値上げする(月刊社協だより裏ページ、表No.1)こととなりました。

新しい販売単価で、過去一年間の資源ごみの売上価格を求めてみると三十七万円となり、三十一年度社協収入源の第一番の収入(グラフNo.2)となる事が予測できます。

高齢化が進む中で、今後社協の取組はますます重要になってきます。しかし、区社協からの助成金が今後増えていく保証はありません。地域でどれだけ自前の資金を作る事が出来るかが地域力のバロメーターと成るでしょう。

資源ごみの販売収入は皆さんの懐からお金を頂くのではなく指定の土曜日に資源ごみを出すだけで、狩留家独自の収益が得られるのです。

資源ごみの総出荷重量の推移(グラフNo.1)を見ると、ほとんどの月が年

ごとに出荷量が低下しています。さらに、残念な事に水曜日に資源ごみが出されているのを見かけます。心ある人が土曜日以外に出された資源ごみを回収して頂いてください。資源ごみは町民の貴重な資源です。

現在、資源ごみ売上の約半分がAEDのリース

代金として使われています。AEDの一台は赤い羽根募金で買取り、二台は五年のリースでした。来年の五月には、AED三台の買換え時期が来ますので三台分のリース代金を支払わなければならなくなります。全町民が第一、第三土曜日に資源ごみを出して頂ければ一カ月の販売が四万円代になる事も夢ではなくあります。ご協力宜しくお願いします。(会長記)

かこがわ子どもフェスタ開催 今年も高齢者疑似体験コーナー

十月二十八日(日)狩留家地区社協は、”高齢者の疑似体験”に取り組



みました。たくさんの方の装束を身につけて、段差での注意、腰かけて改めて立ち上ることのしんどさ、文字を読んだり書いたりする難しさなど、どれをとっても大変な体験です。甘いわた菓子や、飲み物、木工作、派手な衣装で登場したバルーンアートショー。その中にひっそりと静かなコーナーです。元気で身軽に走りまわっている子供たちには、決して楽しみな体験場所ではありません。

理事会報告

平成三十年十一月十三日

- 一、ぬくぬく会・サロン交流会について十二月六日(木)
- 二、花と緑の町づくりについて
- 三、平成三十年度広島市社会福祉大会について

救命講習会開かれる

十一月十一日(日)に救命講習会が、ありました。地域の消防団の方も含め三十二名の参加があり三つのグループに分かれて各自思うことを質問しながら楽しく研修が受けられました。女性の地域の消防団のお話は、動作も交えた分かりやすい説明でした。私も今回で三回目の参加なので、少しAEDの使い方も理解できたように思います。命を守るための講習だったので、この講習が無駄にならないよう、頭の隅



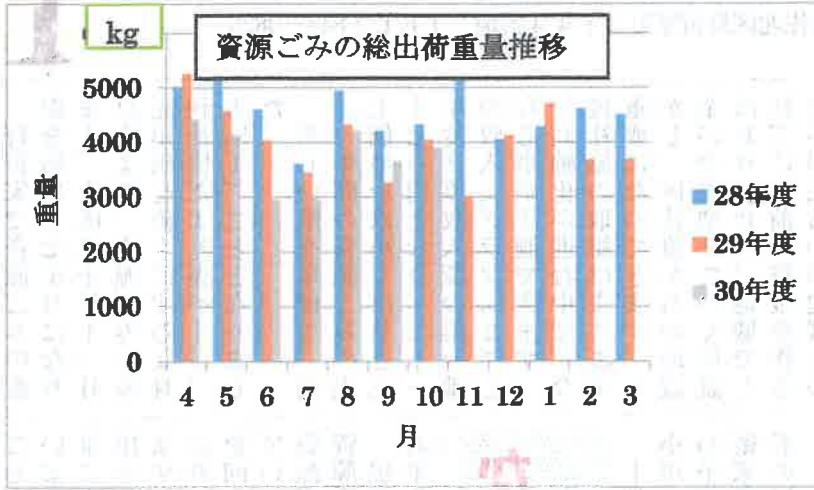
十月資源ごみ売上 一三万円

資源ごみ

月



資源ごみに関するグラフと表

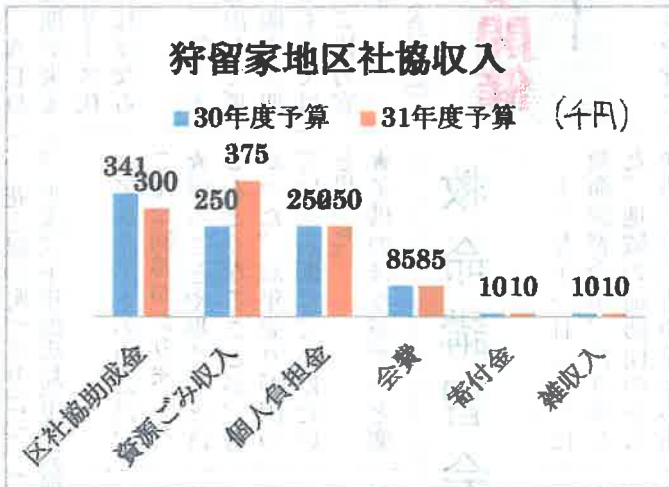


グラフ No. 1

資源ごみの仕入単価推移 (円/kg)

平成年度	H24年	25年~30年	30年11月以降
段ボール	1	4	6
新聞	3	4	8
雑誌等	1	2	4
アルミ缶	20	30	30

表 No. 1



グラフ No. 2

